

(令和元年10月18日開催)

令和元年10月8日  
市民生活部環境課  
市民生活部循環型社会推進課  
産業部水産課

## 海洋プラスチックごみ対策について

### 1 趣旨

地球規模で広がっている海洋プラスチックごみによる海洋汚染の問題は、本市の基幹産業である水産業への影響も想定され、「海と生きる」を標榜する本市としても身近で重要な問題として捉えており、本年5月に「気仙沼市海洋プラスチック対策推進会議」を設置し、具体的な取組を検討してきました。

9月4日に開催した第4回推進会議では、これまでの推進会議での議論を踏まえ、具体的行動計画として「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定するとともに、本市の考え方と覚悟をメッセージとした「海洋プラスチックごみ対策アクション宣言」を行い、海洋に流出するプラスチックごみゼロを目指し、全市的に取り組むことにしました。

### 2 経過

平成31年4月

～令和元年5月 関係団体との意見交換(22団体)

5月22日 第1回推進会議

- ・海洋プラスチック問題について
- ・基本方針(案)と重点取組(案)について

5月22日 “海と生きる”連続水産セミナー

- ・講師：東京海洋大学 理事兼副学長 東海 正 氏

5月30日 海洋プラスチック問題に関する講演会

- ・講師：大学院大学至善館 教授 枝廣 淳子 氏

6月18日 第2回推進会議

- ・具体的取組(案)について

7月12日 環境省・水産庁訪問

- ・気仙沼市の海洋プラスチック対策について

8月1日 第3回推進会議

- ・アクションプラン(案)について
- ・アクション宣言(案)について

8月22日 民生常任委員会協議会へ説明

9月4日 第4回推進会議

- ・アクションプラン策定
- ・アクション宣言

### 3 具体的取組の例

#### (1) 海中ごみの回収

漁業者が操業中に回収したごみや意図せずに船上に引き上げたごみについて、陸上への持ち帰りを一層推進するため、市の責任においてごみの処理を行う。

#### (2) 海ごみ回収ステーションの設置

漁業者やボランティア等による海中ごみ、漂着ごみの回収を推進するため、漁港等に海ごみ回収ステーションを設置する。

#### (3) 使用済み漁具の集団回収

漁業者が使用して不要になった漁具については、農業分野で行われている集団回収を参考にし、漁業者が処分しやすい仕組みを構築する。

#### (4) オリジナルエコバッグの作製

レジ袋を削減するため、機能性やデザインに優れたオリジナルのエコバッグなども作製し、その利用と普及を促す。

#### (5) 脱ペットボトルの推進

ペットボトル飲料の代替を促進するため、イベントや会議等においては、原則としてカートカンや缶などペットボトル以外での提供とする。

#### (6) 環境省との連携

環境省から、モデル事業予算を確保するため、本市の具体的な取組例の照会があり、オリジナルエコバッグの作製など、いくつかのプランを提案している。

### 4 当面の進め方

アクションプランの着実な実行に向け、それぞれの取組ごとに関係団体と具体的に協議しながら進めてまいります。